

富大エコチル調査富山ユニット
センターの体験イベント「犯人を
捜せ！ 操作用似顔絵を描いてみ
よう」は31日、富山市科学博物館



似顔絵に挑戦する児童

富山市科学博物館

似顔絵描き「犯人捜せ」

で開かれ、6年生の親子約50人が
犯罪捜査の一つである似顔絵の作
成を体験した。

県警本部機動鑑識係の島田稔久
係長が、捜査用の似顔絵はモデル
を見ながら描くのではなく、犯人
の特徴を目撃者から聞き取ってイ
メージしながら描くことが通常の
似顔絵の最大の違いと説明した。

富山で体験イベント

保護者が紙に描かれた犯人の似
顔絵を記憶し、児童に口頭で顔の
特徴を説明。児童は顔の輪郭や目、
鼻の鉛筆で描き、質問して形を修
正しながら似顔絵を仕上げた。

環境や化学物質が子どもの健康
に与える影響を調べる環境省の
「エコチル調査」に協力する小学
6年生が参加した。